

未来の担い手を育てよう

JAしずない青年部、食育出前授業を行う

JAしずない青年部（部長 菊地慶さん）は6月中旬から7月上旬にかけ、新ひだか町の小学校4校を訪れ、静内産ミニトマト「太陽の瞳」と同じ品種を使った定植体験授業を各校の畑で行いました。

2013年から続くこの食育出前授業も、昨年は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の為、開催することが出来ませんでした。今年は当該時期において感染者も少なく、緊急事態及び蔓延防止措置の宣言も出ていないことから実施することが出来ました。

各校の子供たちは青年部員の指導を受けながら、実際にシャベルを使用した畑作りから



静内小学校

ミニトマトの苗を嬉しそうに見せてくれました。



静内小学校

元気よく手を上げて返事をしてくれました。青年部もやりがいを感じます。



高静小学校

苗を一生懸命植えてくれました。たくさん植えることが出来ました。収穫が楽しみです。

苗を植える作業を悪戦苦闘しながら行いました。また、ワンポイントアドバイスとして青年部員から実によく栄養が届くよう余分な芽を取る芽かき作業の説明も目を輝かせながら熱心に聞き入っていました。

一昨年の秋には生産者のハウスや選果場の見学を行った学校もあり、今年も同様に行いたい意向でいます。ミニトマト産地ならではの取組みにより、地域一体となった産地づくりPRを今後とも続けていきますのでご協力のほどお願い致します。

桜丘小学校

苗のそばに支柱を建てています。自分の背よりも大きくなりますよ。

山手小学校

沢山お水をあげてくれました。元気に育ちますよつに。

